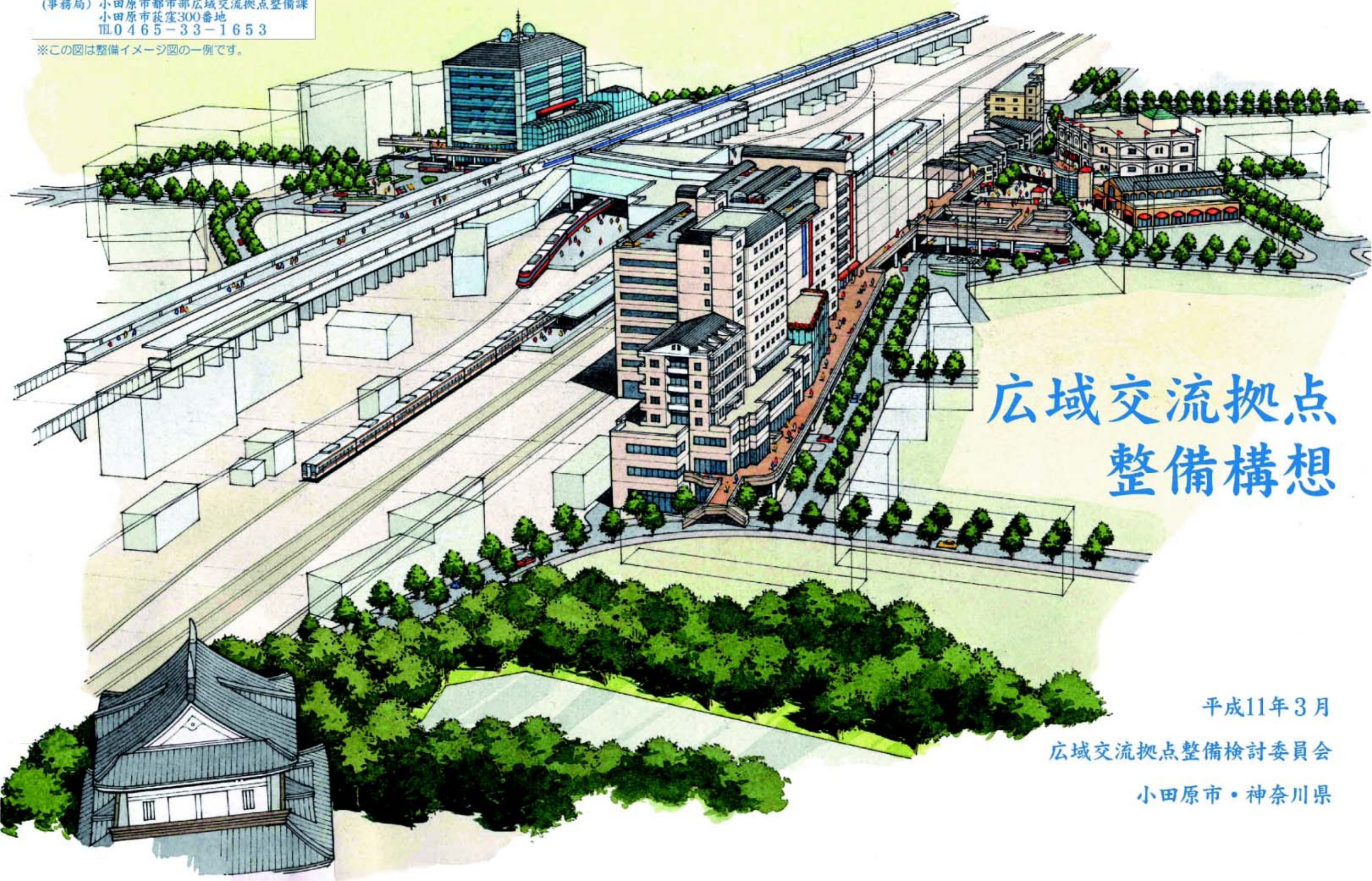


広域交流拠点整備構想

(事務局) 小田原市都市部広域交流拠点整備課  
小田原市荻窪300番地  
TEL 0465-33-1653

※この図は整備イメージ図の一例です。



# 広域交流拠点 整備構想

平成11年3月

広域交流拠点整備検討委員会

小田原市・神奈川県

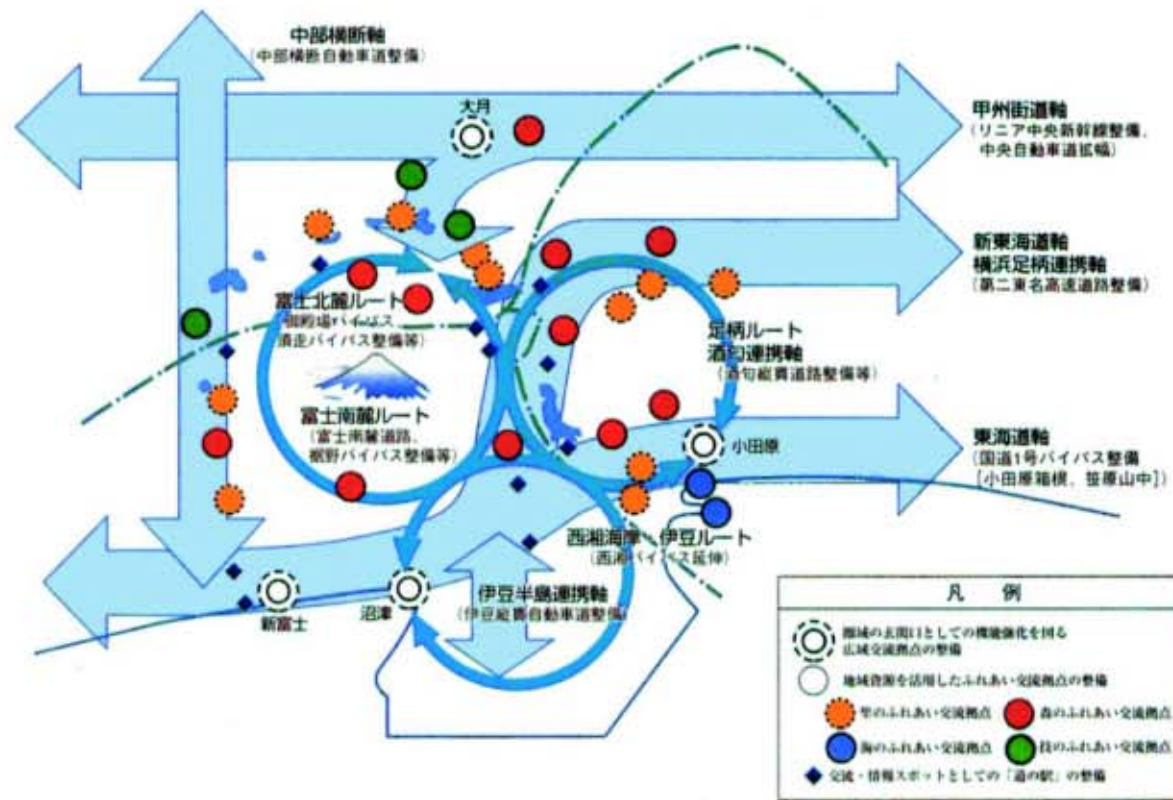
# 構想の目的

神奈川県では、県西地域活性化の新たな視点として、山梨県・静岡県と連携して、富士・箱根・伊豆にまたがる新しい交流圏づくりを進めています。

そうした中、神奈川県及び小田原市は、広域交流拠点整備検討委員会を発足させ、小田原駅周辺地区を広域交流拠点として位置づけた整備構想づくりに取り組みました。

この広域交流拠点整備構想は、県西地域をはじめ交流圏の様々な魅力ある資源と連携を図りつつ、来訪者や県西地域の人々にとって快適で利便性の高い交流機能の整備を進めていくためのガイドラインとなるものです。

## ■ 富士箱根伊豆交流圏整備による県西の活性化概念図



出典：かながわ新総合計画21(平成9年3月 神奈川県)

# 1 小田原駅周辺地区の役割と求められる機能

交流圏及び県西地域の広域交流拠点として、小田原駅周辺地区には以下の4つの役割を担うため、7つの機能の育成・強化が求められます。

## 役割① 県の西の玄関口・交流圏のゲート

小田原駅には、東海道新幹線をはじめ5つの鉄道が結節し、交流圏内の鉄道駅としては最大の乗降客を数えています。路線バス及び定期観光バスの発着は駅東口に偏っており、駅東西の機能分担・連携が図られていません。

一方、新たな幹線道路として、酒匂縦貫道路(小田原大井線)や小田原環状道路(外環状道路)などの整備が進められており、箱根、真鶴、湯河原や交流圏の各地域との回遊性を高めるため、これら幹線道路と小田原駅周辺とのアクセス向上を図るとともに、駅西口の発着機能の強化が求められます。

このため、広域交通ターミナル機能の駅東西の分担と相互の連携を図り、県の西の玄関口として新しい、かつ交流圏形成のためのゲートにふさわしい交通処理機能を整備する必要があります。

求められる機能

交通機能

## 役割② 広域観光振興の拠点

小田原駅周辺地区は、交流圏の交通結節点であり小田原城跡に代表される歴史・文化拠点となっています。

広域交流拠点づくりを進めていくためには、小田原の魅力を高めていくことはもちろんですが、県西地域をはじめ交流圏の観光資源などのネットワーク化を図り、来訪者に魅力ある情報を発信することにより、人の来訪を促し、観光資源を生かした各地への回遊性を高めていくことが求められます。

このため、ネットワーク型の広域観光圏の形成をめざして、広域的な観光情報機能や観光バスターミナルを整備するとともに、人や情報の交流を促進するための機能を強化する必要があります。

求められる機能

観光機能

情報機能

宿泊機能

コンベンション機能

## 役割③ 県西地域の生活拠点

小田原駅周辺地区は、就業・就学・消費活動・行政サービス・医療など、県西地域の社会経済の中心地として機能してきましたが、商業を始めとして時代のニーズやライフスタイルの変化に対応した機能が不足しています。

このため、都心にふさわしい商業空間や、アミューズメント機能、さらには来訪者や県西地域の人々が手軽に利用できる多目的な交流施設など多様な魅力ある都市機能を充実し、県西地域の生活の利便性・快適性の向上を図る必要があります。

求められる機能

商業機能

コンベンション機能

観光機能

情報機能

## 役割④ 広域防災拠点

東海地震をはじめとする大規模地震の発生が指摘されている中、県西地域の生活拠点であり、観光客をはじめとした多くの人が行き交う交流の場である小田原駅周辺の総合的かつ広域的な防災機能の強化が求められています。

このため、防災拠点である駅西側の市役所周辺地区と駅東側の繁華街との連携を図りながら、来訪者も視野に入れた駅及び駅周辺の都市防災機能の向上を図る必要があります。

求められる機能

防災機能

## 2 基本コンセプト

広域交流拠点としての小田原駅周辺地区には、「交通」「情報」「観光」「商業」「宿泊」「コンベンション」「防災」の7つの機能の育成・強化が求められます。

そのうち、「交通」「情報」「観光」「宿泊」「商業」は、歴史的に城下町・宿場町としての小田原が有していた、現代にも通じる交流促進のための基本的な機能と言えます。

また「コンベンション」は、県西地域に不足している機能であり、交流圏の豊かな観光資源を背景として、アフターコンベンションを含めた情報交流、参加体験型交流、マーケティング型交流、さらに冠婚葬祭など多目的な生活関連の交流を促進するものです。

さらに「防災」は、交流する人々の安全を確保し、広域的な都市防災性を高めるものです。

本構想では、城下町小田原が有していた機能の再興と新しい交流の時代に対応した機能の導入を図り、交流圏の活性化と県西地域の発展につながる開かれた広域交流拠点となるよう、その基本コンセプトを

## 21世紀の交流舞台・小田原城下町

と定めます。

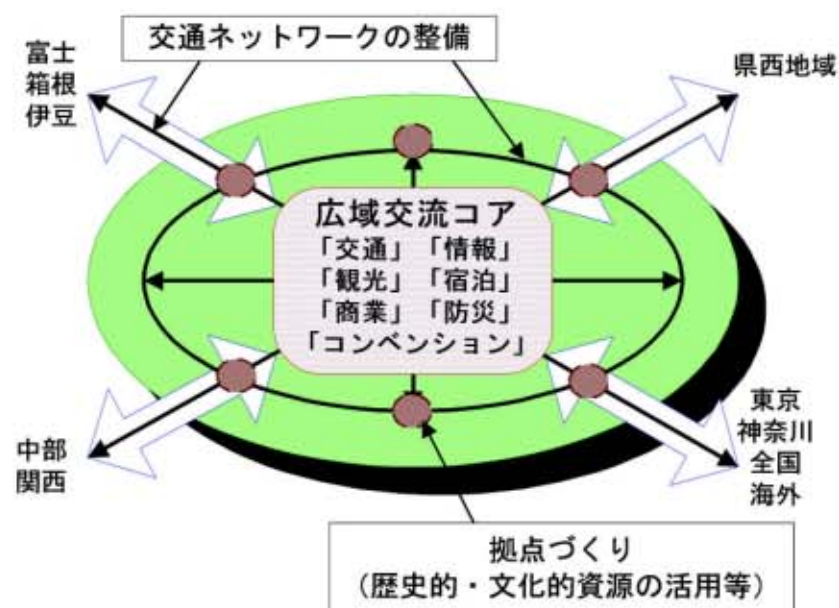
## 3 広域交流拠点整備の考え方

交流舞台づくりの核となるものとして、小田原駅を中心に駅直近3地区（お城通り地区・栄町二丁目東通り大乗寺周辺地区・駅西口地区）を含めたエリアを広域交流コアと位置づけます。

広域交流を促進する7つの機能（交通・情報・観光・宿泊・商業・コンベンション・防災）をコア内各地区に役割分担して集中配置し、小田原駅東西自由連絡通路による機能連携を図ります。

さらに、コアを中心とした交通ネットワークを整備するとともに、コア周辺の歴史的・文化的資源とのネットワーク化を図り、回遊性の高い魅力あふれる交流舞台を創造します。

■ 広域交流拠点整備の考え方(イメージ図)



## 4 広域交流拠点整備の施策メニュー

本構想に関連した県の構想である『富士箱根伊豆交流圏構想』及び『酒匂連携軸総合整備構想』においても、小田原駅周辺地区は広域交流の拠点と位置づけられています。

これらの構想で位置づけられた小田原駅周辺地区の役割を踏まえた上で、広域交流拠点整備のための25の施策メニューを設定し、小田原駅周辺地区の広域交流拠点としての整備を図ります。

■ 広域交流拠点整備のための25の施策メニュー

### 広域交流コアの整備(15の施策メニュー)



## 5 広域交流コア整備基本計画

■ 広域交流拠点整備のための25の施策メニュー(つづき)

### 広域交流交通ネットワークの整備(6の施策メニュー)

広域交流のための機能連携を支える交通ネットワークづくり

**施策16** 広域交流拠点アクセスを支える幹線道路網の整備

**施策17** 広域交流拠点の機能連携を支える地区内道路網の整備

**施策18** 公共交通機能の向上

**施策19** 回遊性のある歩行ネットワークの整備  
(駅東西にまたがり、多様な拠点を散策・回遊できる歩行ネットワーク整備)

コア周辺の回遊性を高めるシステムづくり

**施策20** 駐車場・駐輪場の整備促進や駐車場案内システムの導入検討

**施策21** 地区内循環バスシステムの検討

### コア周辺の伝統に支えられた歴史・文化の魅力づくり(4の施策メニュー)

小田原城を核とした歴史と文化の拠点づくり

**施策22** 歴史の拠点としての城址公園の整備推進

**施策23** 文化の拠点としての(仮称)城下町ホールの整備促進

**施策24** ふれあいの拠点としての御幸の浜海岸の整備推進

伝統るまちなみや歴史を生かした回廊づくり

**施策25** 歴史と緑のまちなみづくり

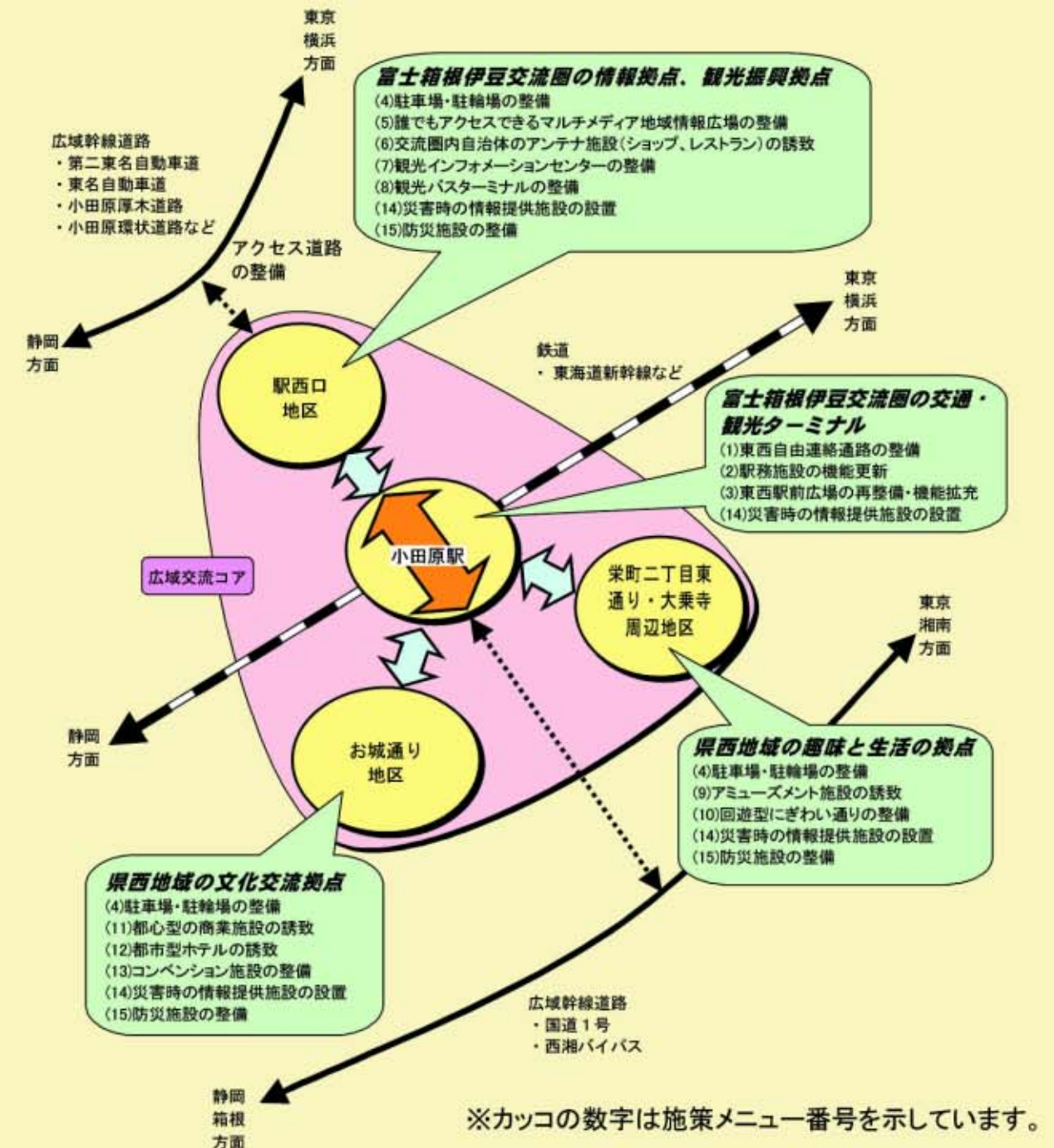
## 広域交流コアの機能配置計画

広域交流コア各地区の位置づけを設定し、7つの機能を適正に配置し、施策メニューを振り分けたのが下の図です。

それぞれの地区で設定した施策メニューに従い整備方針を策定しました。

**施策1～15：広域交流コアの機能配置計画に基づき各地区に15の施策を振り分けます。**

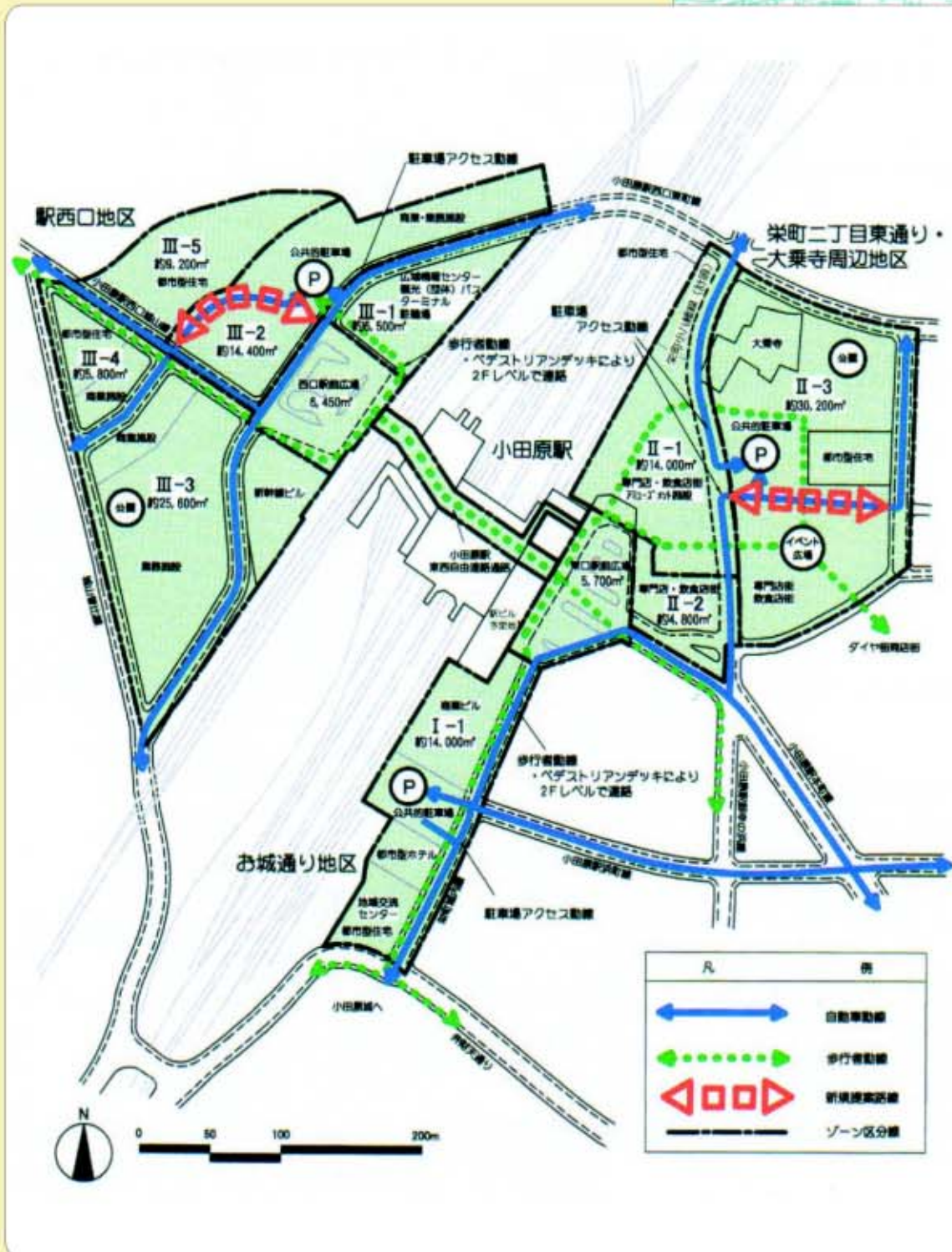
■ 広域交流コアの位置づけおよび機能配置計画図



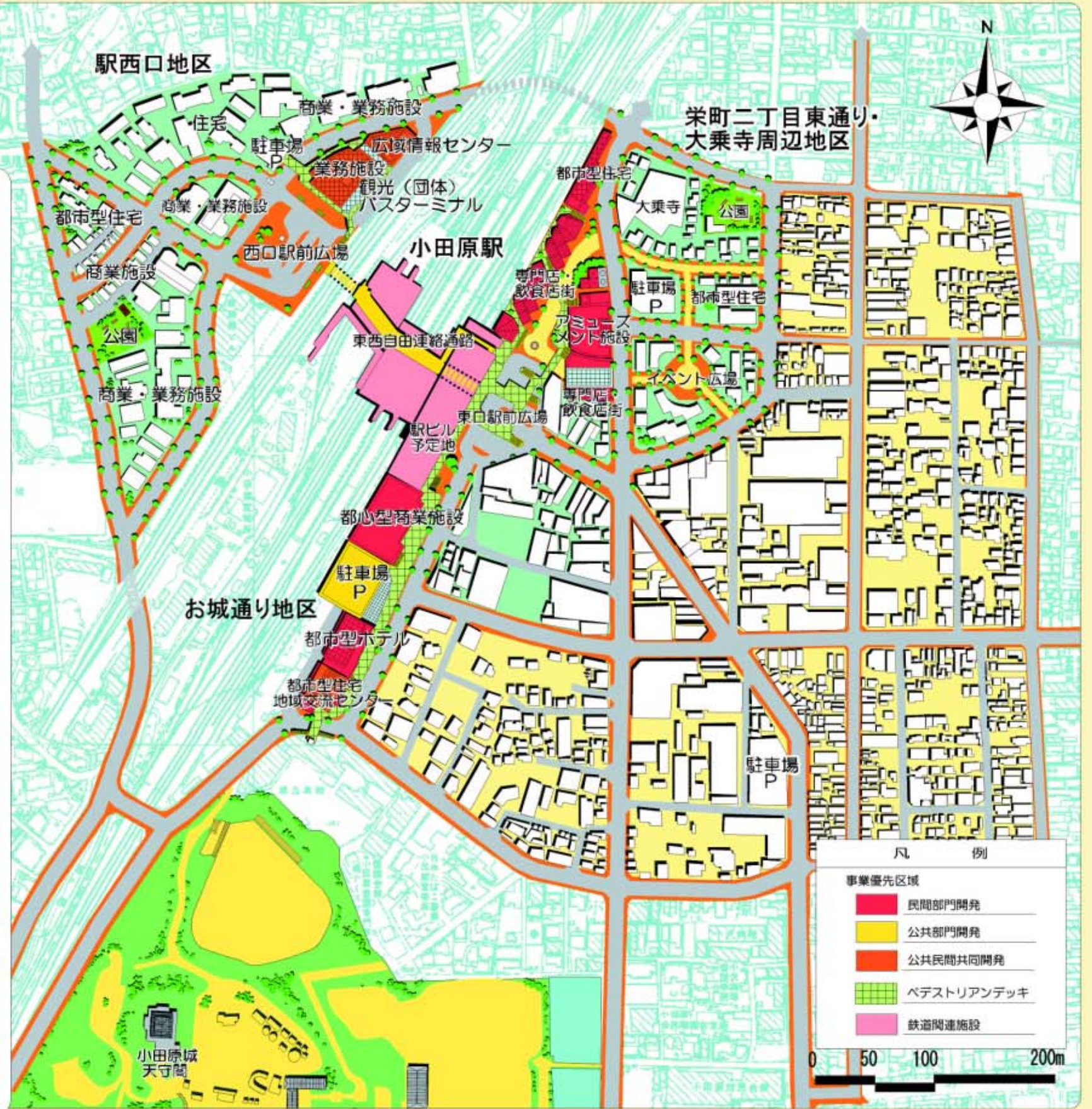
# 広域交流コア整備基本計画図

広域交流コア内各地区をさらにゾーン分けして、それぞれのゾーン別に整備計画を策定しています。

■ 広域交流コア全体配置・動線計画図



■ 広域交流コア整備イメージ図



## 小田原駅再整備基本計画

### 計画コンセプト

#### ～快適ふれあいターミナル：小田原駅～

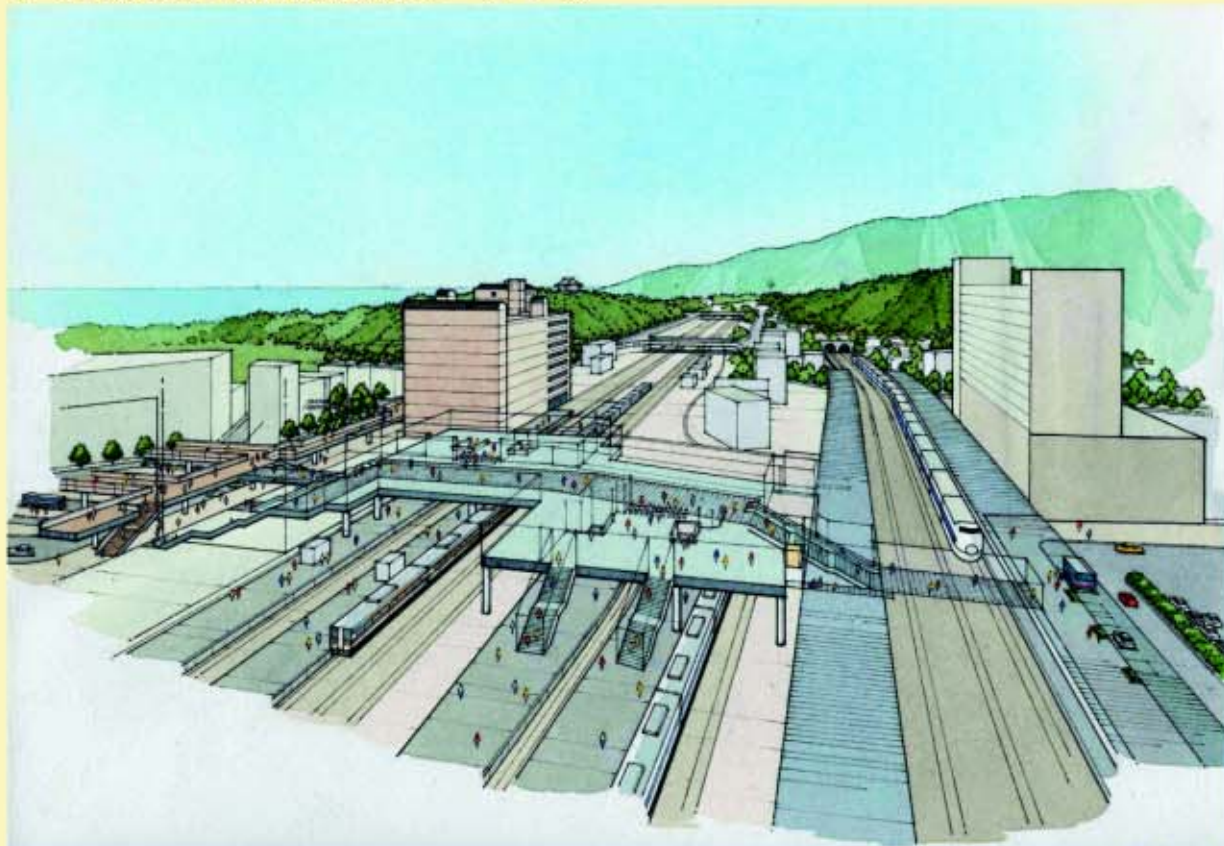
#### 整備方針

- ・小田原駅東西自由連絡通路の整備を図ります。
- ・現在の東口駅前広場への機能集中を解消するため、東西自由連絡通路の整備に合わせ西口駅前広場の適正な機能分担を図ります。
- ・新しい交通形態であるキスアンドライドに対応する自家用車乗降バス、自家用車滞留場を西口駅前広場に整備します。（キスアンドライド：自宅から最寄り駅までの自家用車による送迎のための交通）
- ・駅前広場内は安全性の確保のためにできる限り歩行者と自動車の動線分離を図ります。
- ・また、広域交流コアとしてふさわしい、駅前の顔となる広場空間整備を図ります。

#### 小田原駅東西自由連絡通路施設概要

区分	JR東日本	小田急電鉄	JR東海	伊豆箱根鉄道
自由通路	延長：約80m 幅員：16m	延長：約42m 幅員：16m	延長：約50m 幅員：11m	(延長：約32m) (幅員：4.5m)
橋上駅舎	軌道上空 約2,500㎡	軌道上空 約2,000㎡		
駅施設			新幹線駅業務施設の移転	駅業務施設の建替
JR間乗換連絡通路	L=約105m、W=5m			

#### ■ 小田原駅東西自由連絡通路イメージパース



※ この図は整備イメージの一例です。

## お城通り地区整備基本計画

### 計画コンセプト

#### ～文化をつなぐ地域交流ストリート：お城通り地区～

#### 整備方針

- ・県西地域の産業振興や文化交流を促進するための核となる施設として、地域交流センターを整備します。
- ・人的交流を促進するための施設である都市型ホテルを整備し、観光客、ビジネス客の宿泊や地域住民による結婚式や式典開催などの需要に応えます。
- ・JR東日本が東西自由通路と合わせて整備することを計画している駅ビルの商業施設との連携を図りながら、中心市街地に位置する利便性の高い都心型商業施設を整備します。
- ・都市の利便性を享受することが出来る都市型住宅を整備します。
- ・駅東口周辺の自動車駐車場需要に対応するため、公共的駐車場を整備します。
- ・お城通りは、駅東口からペDESTリアンデッキによる連続した歩行空間の整備を図ります。

#### 全体構成

ゾーン	施設	施設構成
I-1	地域交流センター	・コンベンション施設 ・会議室 ・情報提供施設（地域文化・行政情報提供、防災情報提供）
	都市型ホテル	・バンケット機能を備えたシティーホテル
	都市型住宅	・集合住宅
	公共的駐車場	・立体駐車場、駐輪場
	商業ビル	・都心型商業施設（駅ビルと連携）

#### ■ お城通り地区イメージパース



※ この図は整備イメージの一例です。

## 栄町二丁目東通り・大乘寺周辺地区整備基本計画

### 計画コンセプト

～にぎわいのライフスタイル：栄町二丁目東通り・大乘寺周辺地区～

### 整備方針

- ・既存商業施設の再生を図るための建物更新を行い、にぎわいのある専門店、飲食店街を整備します。
- ・若者や観光客の来訪を増加させるため、アミューズメント施設を整備します。
- ・周辺の既存商店街との回遊性を確保する歩行空間を整備します。
- ・都市の利便性を享受することが出来る都市型住宅を整備します。
- ・都市計画道路栄町小八幡線を整備します。

### 全体構成

ゾーン	施設	施設構成
Ⅱ-1	専門店・飲食店街	・専門店、飲食店、生活関連商店の集積
	アミューズメント施設	・映画館、ボーリング場、ゲームセンターなどが集積する複合娯楽施設
	都市型住宅	・集合住宅
Ⅱ-2	専門店・飲食店街	・専門店、飲食店、生活関連商店の集積
Ⅱ-3	都市型住宅	・集合住宅
	公共的駐車場	・立体駐車場、駐輪場
	防災施設	・公園
	専門店・飲食店街	・専門店、飲食店、生活関連商店の集積
	イベント広場	・屋外のイベントスペース

■ 栄町二丁目東通り・大乘寺周辺地区イメージパース



※ この図は整備イメージの一例です。

## 駅西口地区整備基本計画

### 計画コンセプト

～情報・産業・観光のアクセスポイント：駅西口地区～

### 整備方針

- ・駅前地区の顔となり、富士箱根伊豆交流圏の情報拠点となる広域情報センターを西口駅前広場に隣接して整備します。
- ・広域情報センター内には、交流圏の観光地を結ぶ情報ネットワークの拠点となる観光インフォメーションセンターを整備します。
- ・併せて、駅前広場の機能を補完する役割として、団体バス専用の観光バスターミナルを整備します。
- ・広域情報センター及び駅前広場を取り囲むように、商業・業務施設を整備します。
- ・業務施設の外側には、利便性の高い都心居住を実現する都市型住宅を整備します。
- ・地区内には、災害時の一次避難地としての機能を持つ公園を整備します。  
また、地区内の駐車需要に対応する公共的駐車場・駐輪場を整備します。

### 全体構成

ゾーン	施設	施設構成
Ⅲ-1	広域情報センター	・マルチメディア地域情報広場 ・交流圏内自治体のアンテナ施設（ショップ・レストラン） ・観光インフォメーションセンター ・業務施設
	観光（団体）バスターミナル	・西口駅前広場機能を補完する団体用の観光バスバース ・駐輪場
Ⅲ-2	商業・業務ビル	・飲食店、店舗、事務所
	業務ビル	・事務所
	公共的駐車場	・立体駐車場
Ⅲ-3	商業・業務ビル	・飲食店、店舗、事務所
	防災施設	・公園
Ⅲ-4	店舗・住宅ビル	・店舗付き集合住宅
Ⅲ-5	都市型住宅	・集合住宅

■ 駅西口地区イメージパース



※ この図は整備イメージの一例です。

# 6 広域交流交通ネットワーク整備基本計画

## 広域交流のための機能連携を支える交通ネットワークづくり

### 施策16 広域交流拠点アクセスを支える幹線道路網の整備

#### 整備方針

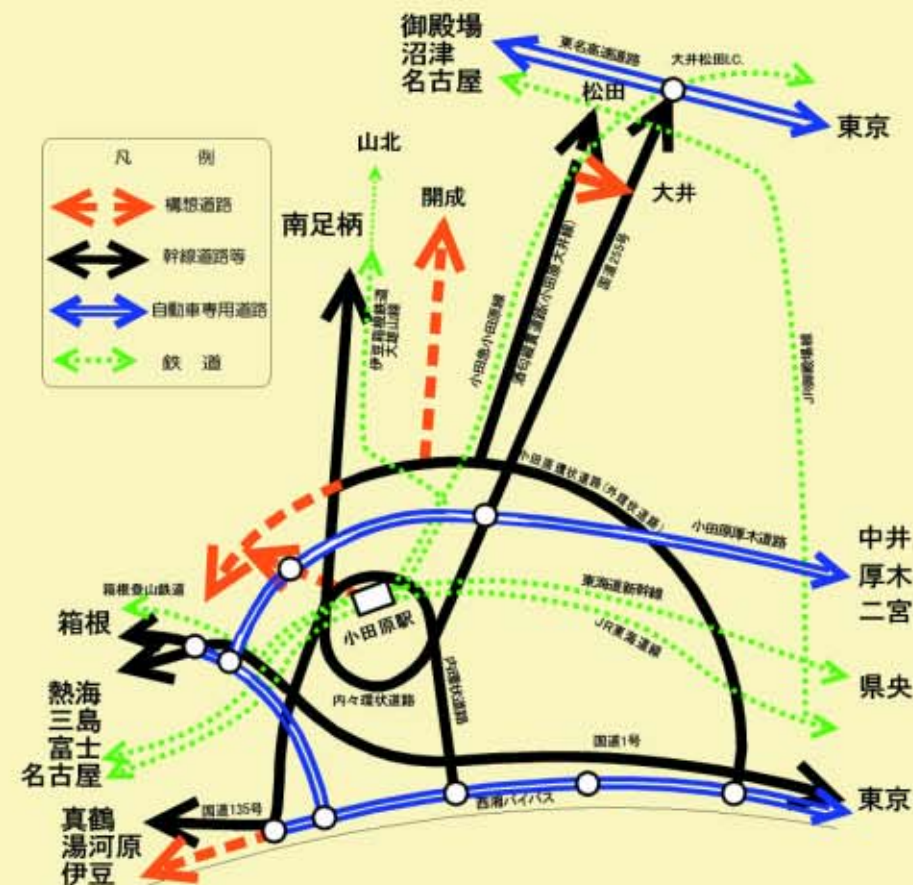
- ・広域的なメインアクセス道路となる小田原環状道路（外環状道路）及び酒匂縦貫道路（小田原大井線）の整備、並びに西湘バイパスの延伸を進めます。
- ・城山曾比線の整備を進めるとともに、広域交流コアから小田原厚木道路菟窪I.C.及び小田原環状道路方面へアクセスする新規道路の整備を進めます。
- ・広域交流拠点アクセスを補完する内環状道路を整備します。

### 施策17 広域交流拠点の機能連携を支える地区内道路網の整備

#### 整備方針

- ・中心市街地の環状道路である内環状道路及び内々環状道路を整備します。
- ・駅前広場へのアクセスとして小田原駅西口城山線及び小田原駅本町線を整備します。
- ・広域交流コア内の地区幹線道路として、栄町小八幡線、小田原駅浜町線及び栄町城内線を整備します。
- ・駅西口地区及び栄町二丁目東通り・大乗寺周辺地区に整備する公共的駐車場へアクセスする新規道路を整備します。

#### ■ 広域交流交通のためのネットワークイメージ図



### 施策18 公共交通機能の向上

#### 整備方針

- ・大雄山線の延伸及び御殿場線の小田原駅乗り入れによる県西地域への鉄道利便性の向上促進を図ります。
- ・交通圏内観光拠点へのバス路線の増設促進を図ります。

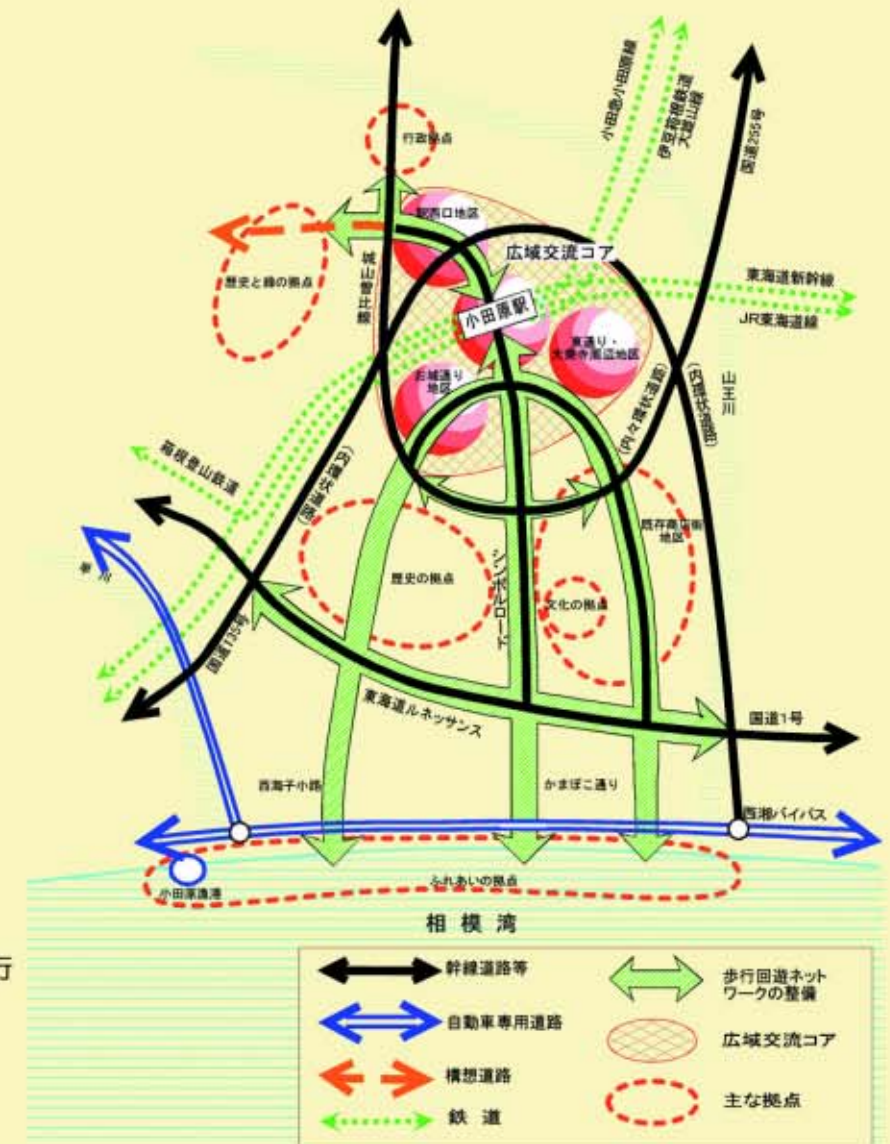
## コア周辺の回遊性を高める交通システムづくり

### 施策19 回遊性のある歩行ネットワークの整備（駅東西にまたがり、多様な拠点を散策・回遊できる歩行ネットワークの整備）

#### 整備方針

- ・城山曾比線・小田原駅西口城山線から東西自由連絡通路を經由して小田原駅本町線を結ぶ軸を、駅東西をまたぐ歩行ネットワーク骨格軸として位置づけ整備を図ります。
- ・内々環状道路を、歩行ネットワークの環状道路として位置づけ整備を図ります。
- ・お城通り地区のメインストリートである小田原駅浜町線及び栄町城内線、並びに小田原のシンボルロードとして位置づけている小田原駅御幸の浜線は、城址公園の景観を生かした歴史・文化のストリートとして歩行空間の整備を図ります。
- ・小田原市地区景観ガイドプラン（平成4年3月）に位置づけられている西海子小路及びかまぼこ通りの歩行空間の形成を図ります。
- ・東通りをはじめとした、周辺の商店街の通りを、回遊性のある歩行空間として整備を図ります。

#### ■ コア周辺の交通システムイメージ図



### 施策20 駐車場・駐輪場の整備促進や駐車場案内システムの導入検討

#### 整備方針

- ・駐車場不足を補うため、公共と民間の役割分担のもとコア各地区に一時預かりの駐車場を整備します。
- ・民間駐車場の整備促進を図るための支援措置を検討します。
- ・小田原駅周辺の駐輪場需要に応えるため、コア各地区に駐輪場を整備します。
- ・駐車場案内システムの導入を検討します。

### 施策21 地区内循環バスシステムの検討

#### 整備方針

- ・広域交流拠点内を循環するバスの運行を検討します。



# 7 コア周辺の伝統に支えられた魅力づくり基本計画

## 小田原城を核とした歴史と文化の拠点づくり

### 施策22 歴史の拠点としての城址公園の整備推進

**整備方針**  
 ・県西地域の歴史の拠点として、小田原市のシンボルでもある小田原城址公園の整備を進めます。

### 施策23 文化の拠点としての(仮称)城下町ホールの整備促進

**整備方針**  
 ・県西地域の文化芸術活動の拠点として、三の丸地区に(仮称)城下町ホールの整備を進めます。

### 施策24 ふれあいの拠点としての御幸の浜海岸の整備推進

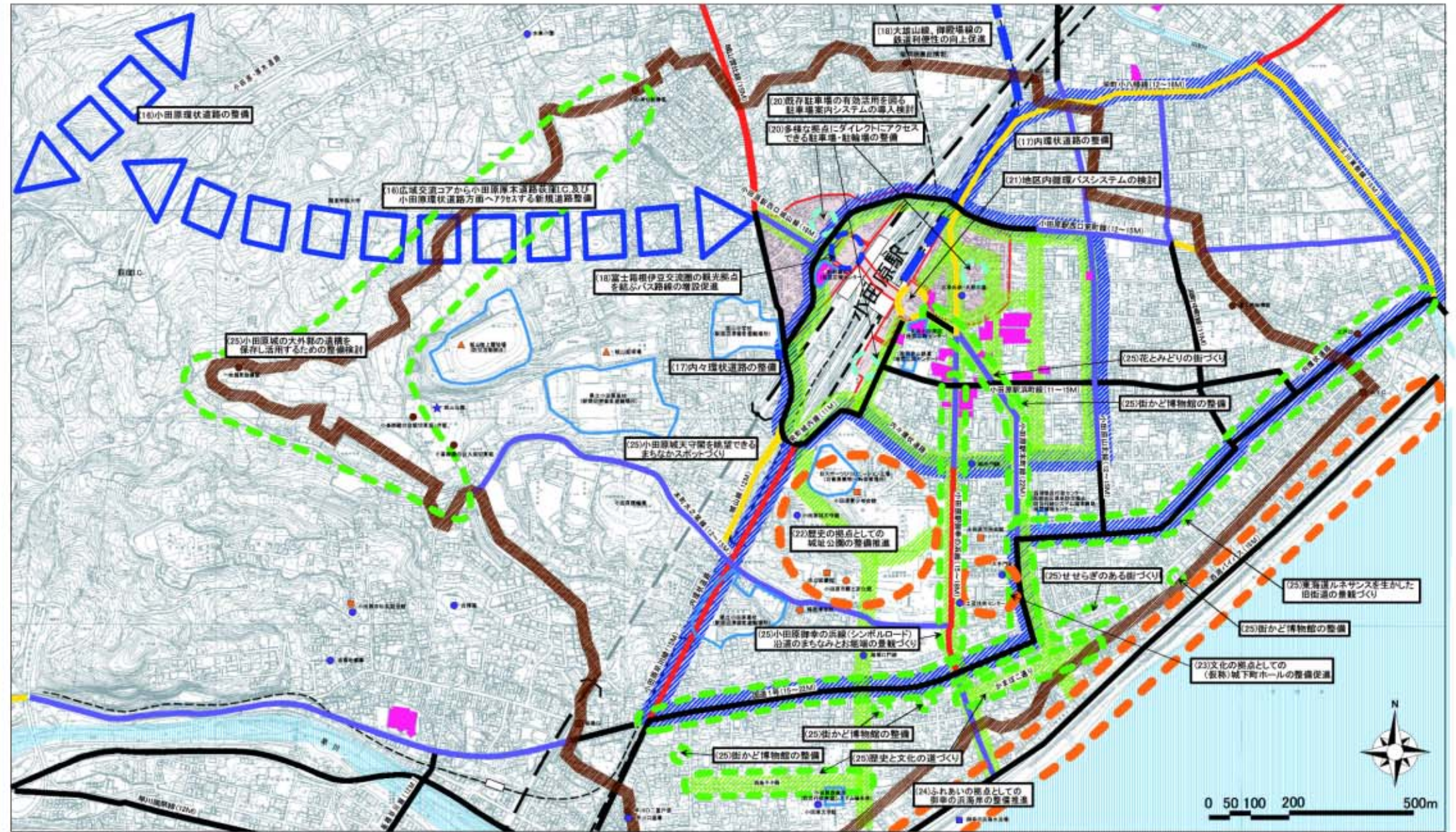
**整備方針**  
 ・美しい西湘海岸の自然を生かしたふれあいの拠点として、御幸の浜海岸の整備を進めます。

## 伝統あるまちなみや歴史を生かした回廊づくり

### 施策25 歴史と緑のまちなみづくり

**整備方針**  
 ・小田原城大外郭の遺構の保存と活用を検討します  
 ・小田原駅御幸の浜線沿道のまちなみづくりとお堀端の景観形成を進めます。  
 ・東海道ルネサンスを生かした旧街道の雰囲気づくりなど歴史と文化の道づくりを進めます。  
 ・花とみどりのまちづくりやせせらぎのあるまちづくりを進めます。  
 ・主要な景観上のポイントから小田原城天守閣への見通し確保を図ります。

■ 広域交流交通ネットワーク整備基本計画及びコア周辺の伝統に支えられた魅力づくり基本計画



観光資源	大外郭遺構等	都市計画道路等	広域交流交通ネットワーク整備基本計画	コア周辺の伝統に支えられた魅力づくり基本計画
■ 自然系資源	● 主な遺構	— 改良済	◀◻◻◻▶ (16)広域交流拠点アクセスを支える幹線道路網の整備	○ (20)駐車場・駐輪場の整備促進や駐車場案内システムの導入検討
● 人文系資源	■ 虎口(門)跡	— 概成済	▨ (17)広域交流拠点の機能連携を支える地区内道路網の整備	○ (21)地区内循環バスシステムの検討
★ 公園、スポーツ・レクリエーション施設	■ 大外郭	— 事業中	— (18)公共交通機能の向上	○ (22)歴史と文化の道づくり
● 博物館、資料館	■ 防災拠点	— 未整備	— (19)回遊性のある歩行ネットワークの整備	○ (23)文化の拠点としての(仮称)城下町ホールの整備促進
● スポーツ施設	■ 大規模小売店舗			○ (24)ふれあいの拠点としての御幸の浜海岸の整備推進
● 図書館、市民会館	■ 防犯拠点			○ (25)歴史と緑のまちなみづくり
				■ 広域交流コア

※枠の中のかっこ数字は、広域交流拠点整備のための25の施策メニューの番号を示しています。

# 8 広域交流拠点整備構想の実現へ向けて

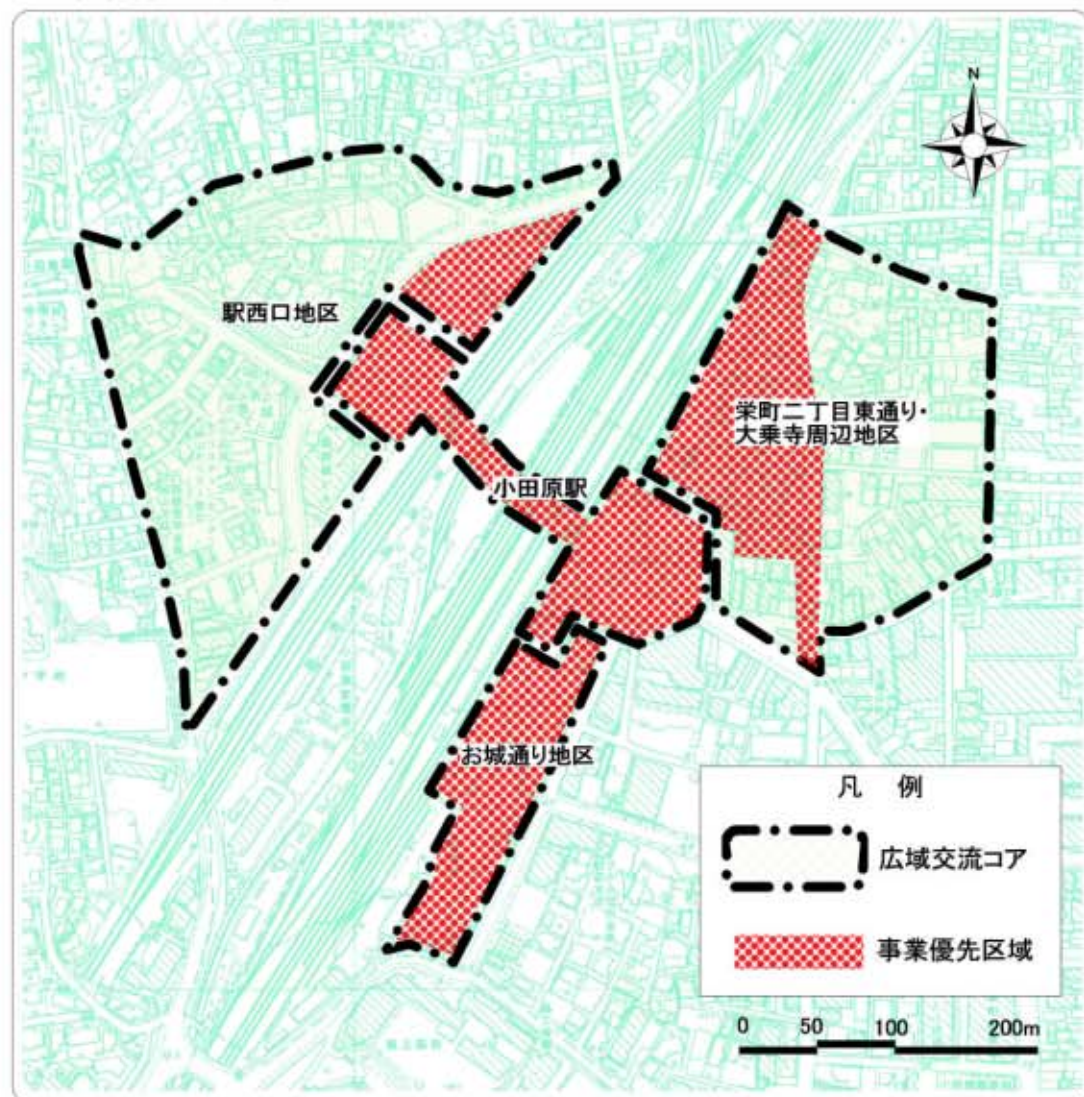
## 事業優先区域の設定

広域交流コアにおいて優先的に整備すべきエリアを、次の観点から「事業優先区域」として設定します。

- 優先的に整備することによる波及効果が大きい駅前広場及びそのアクセス道路などの基幹的なインフラ部分を含むこと
- 現在は土地利用的にみて十分に活用されていないが、積極的に高度利用を図るべきポテンシャルを備えていること
- 過去の地元の取り組みなどからみて、事業の熟度が高いこと

- ①小田原駅  
(東西自由通路、東西駅前広場の整備)
- ②お城通り地区の全エリア  
(地域交流センター、都市型ホテル、都心型商業施設、公共的駐車場の整備)
- ③栄町二丁目東通り・大乘寺周辺地区の都市計画道路栄町小八幡線西側のエリア  
(回遊型にぎわい通り、アミューズメント施設の整備)
- ④駅西口地区の西口駅前広場北東側に隣接するエリア  
(広域情報センター、観光(団体)バスターミナルの整備)

■ 事業優先区域位置図



## 事業化プログラム

地区	整備項目	事業主体	事業スケジュール		
			短期	中期	長期
小田原駅	事業優先区域 東西自由連絡通路	市・民間	[Blue bar]		
	西口駅前広場		[Blue bar]		
	東口駅前広場		[Blue bar]		
お城通り地区	事業優先区域 地域交流センター, 商業ビル 公共駐車場, ホテル	市・民間	[Blue bar]		
栄町二丁目東通り・大乘寺周辺地区	事業優先区域 アミューズメント施設 専門店・飲食店街 集合住宅	市・民間	[Blue bar]		
	栄町小八幡線		[Blue bar]		
駅西口地区	その他の区域 専門店・飲食店街, 公共駐車場 防災施設(公園), イベント広場	市・民間	[Blue bar]		
	事業優先区域 広域情報センター, 観光(団体)バスター		市・民間	[Blue bar]	
その他の区域 商業・業務ビル, 公共駐車場 公共駐車場アクセス道路 防災施設(公園), 集合住宅	市・民間	[Blue bar]			

(事業スケジュール)  
 短期：平成10～13年度  
 中期：平成14～16年度  
 長期：平成17年度以降

[Blue bar] : 事業優先区域の事業